

平成 2 7 年度 第 2 回向日市社会教育委員の会議	
日 時	平成 2 7 年 8 月 1 8 日 (火) 午前 1 0 時 ~ 午前 1 1 時 4 5 分
場 所	向日市民会館 第 1 会議室
出席委員	永井委員長、高畑委員長代理、植田委員、安田委員、中本委員、河村委員、黒住委員、中埜委員、山本委員
欠席委員	横田委員、梅田委員、藤井委員
事 務 局	永野教育長、野田教育部長、清水次長兼生涯学習課長
内 容	1 平成 2 7 年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について 2 平成 2 7 年度乙訓社会教育委員等連絡協議会総会・研修会参加報告について 3 平成 2 7 年度京都府社会教育委員連絡協議会総会・研修会参加報告について 4 その他事項
永野教育長	開 会
委 員 長	開会挨拶
事務局	挨拶
	平成 2 7 年度第 1 回会議録要旨について確認
	議題 1 平成 2 7 年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について
	社会教育関係団体に対する補助金交付・計画について説明
	1 社会教育関係団体に対する補助金支出の手続きについて
	2 社会教育関係団体に対する補助金交付・計画について
	<ul style="list-style-type: none"> ・向日市立小・中学校 P T A 補助金 (9 団体) ・向日市少年補導委員会補助金 (8 支部) ・向日市青少年健全育成連絡協議会補助金 (2 4 団体) ・物集女青少年健全育成会議補助金 ・向日市子ども会育成連絡協議会 (3 0 子ども会) ・公益財団法人向日市スポーツ文化協会補助金 ・向日市少年スポーツ団体補助金 ・ひまわりカップ体操競技大会実行委員会
	- 補助金交付資料閲覧 -

委員長	以上の内容について意見交換を求める。
委員	サッカー少年団が市内で活動を行っている。この団体への補助金交付は行っていないのか。
事務局	少年スポーツ団体への補助金は、4月頃に広報等で、申請のための団体登録を呼びかけているが、申請をしなくても経費を支出できる等の理由で申請をしない団体があり、サッカー少年団は、申請はされていない。
委員	平成26年度の少年スポーツ団体に対する補助金の予算額、決算額を比較すると、予算が16万円ほど残っている。これは、申請が少なかったことが原因であるのか。
事務局	補助金申請をしない団体があったこと、申請団体においても、補助対象外経費が多かったこと等が原因であると考えている。
委員	申請について指導は行っているのか。
事務局	申請に必要な団体登録は、広報で周知を行っているが、あくまで団体の申請に基づき、事業に見合った形で補助金を交付している。
委員	少年スポーツ団体の中には、申請をしない団体があるということだが、補助金が交付されるという認識をもっているのか。
事務局	少年スポーツ団体への補助は、20年以上前から行っており、団体は補助金についての認識をもっている。広報等で周知を行っているが、市内の団体数が減少していること、申請を見合わせている団体があること等が、補助金交付額が少ない原因ではないか。
委員	スポーツ文化協会に対する補助金は、前年と比較して1,537,000円増額しているがどうか。
事務局	スポーツ文化協会への補助金は、運営補助金と事業補助金に分かれており、今年度増額分については、職員の定期昇給分や役員報酬の改定などである。
委員	補助金は、講演会等の講師謝金として、支出してはいけないとのことであるが、各小中学校PTAの中には支出しているところもあるのではないかと。
事務局	PTA会費は、予算額が数十万円から百万円ほどであるが、その中で交付した2万円が講師謝金として支出されていなければ、問題はない。
委員	PTAに対する歳末たすけあい運動の助成額は学校によって様々であるのはどうしてか。

事務局	歳末たすけあい運動の助成については、PTAのほとんどが申請されているが、申請するかどうかは、各PTAでの判断である。
委員	少年補導委員会では、以前に結成40周年記念講演会を実施されたが、講師謝金に関しては、補助金とは別の予算から支出されたのか。
事務局	市少年補導委員会に対する補助金は、そのほとんどが各支部へ配分されている。記念事業で講演会等を開催する際には、謝金が無料もしくは些少の講師に依頼するか、他の経費をあてて実施されるものと考えている。
委員	少年補導委員会の各支部の実績報告の提出を求めることはできないのか。
事務局	市少年補導委員会が、各支部に報告を求めることはできるが、教育委員会から、直接報告を求めることは難しい。
委員	本議題に対しては、社会教育委員としてどのような視点をもって話し合うべきなのか、提示してもらえればありがたい。
事務局	市の社会教育計画や団体への補助金交付状況を踏まえて、社会教育活性化のためには、各団体がどのような事業を行っていけばよいのかについて、意見をいただきたい。
委員	社会教育関係団体に対する補助金交付計画の資料については、毎年、内容がほとんど変わっていない状況である。 各年度、団体でどのようなことを活動の中心におかれているのか、計画書に記載があれば、分かりやすい。
委員	物集女区では物集女青少年健全育成会議が活動を行っているが、他の地区においても同様の取り組みをしている団体はないのか。
事務局	物集女健全育成会議は、活動の歴史が長く、昭和50年代に京都府の委託事業として、活動が始まった。他の地区でも、見守り活動など地域活動からの広がり度で青少年活動を行っているところもある。
委員	かつては、多くの市町で、青年団や婦人団が青少年活動等の地域活動を行っていた。現在、この名称で活動している団体はほとんどないが、各地域で、名称を変えながらも、意思を引き継いで活動を行っている。 社会教育関係団体への補助金は交付額が少ないところもあるが、少額であっても、補助金を交付されているということが、原動力となり活動が継続されている面もあるのではないかと。
委員	以前、物集女青少年健全育成会議で活動していたが、地域の方々の協力により、少額の参加費で、たけのこ掘り体験などの子ども体験活動を行っている。

委員	古くから組織だった活動を行ってきた実績があるというところが、他の地域との大きな違いということか。
事務局	そうである。
委員	P T Aに対する補助金について、申請しないという選択肢もあるということを団体に伝えているのか。
事務局	申請主義をとっていることから、そのような内容を教育委員会から伝えることは難しい。 P T Aの繰越金が多いことについては、以前、補助金検討委員会においても検討課題となったが、地域でのP T A役割は大きいことから、補助金を継続することとなった。
委員	P T A会員になりたくないという意思表示をされる保護者はどれくらいいるのか。
事務局	P T Aの任意加入に関して、学校や教育委員会全体で問題となったことはない。役員になった方々にはできる範囲で活動するという形で取り組みを行っていただいている。 議案2 平成27年度乙訓社会教育委員等連絡協議会総会・研修会参加報告について <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">乙訓社会教育委員等連絡協議会総会・研修会</div> 日時 平成27年6月26日(金)午後1時30分から午後4時 場所 向日市民会館 第1会議室、第2会議室 内容 ・総会 開会行事・議事 ・研修会 実践発表「地域ぐるみで子どもを育てる体制づくり」 おはなしコンサート「竹取物語」 (西ノ岡中学校図書ボランティア「ラ・コンフィティ」の皆さん) ・交流・協議 参加した感想・意見の交流
	議題3 平成27年度京都府社会教育委員連絡協議会総会・研修会参加報告について <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">京都府社会教育委員連絡協議会総会・研修会</div> 日時 平成27年6月18日(木)午後1時30分～4時30分 場所 南丹市日吉町生涯学習センター(遊youひよし) 内容 ・開会行事 ・議事 ・京都府社会教育委員連絡協議会表彰

- ・講演 演題 「今後求められる社会教育による地域づくり
～取組の視点と手順を考える～」
講師 文部科学省国立教育政策研究所
社会教育調査官 井上 昌行 さん

- 参加した感想・意見の交流

議題4 その他事項

- ・第3回会議について
- ・近畿社会教育研究大会について

閉 会

や